コミュニティ通信
Vol.2

元気な東植田

［発　行］
東植田校区コミュニティ協議会
高松市東植田町1825-1
TEL.087-849-0104
［発行日］2007.7.7

平成19年7月1日(日)《さつまいも体験学習》
(20組が作付けに参加)

平成19年5月20日(日)《東植田校区合同運動会》

平成19年4月8日(日)《公渕森林公園桜祭り》

【新しい町づくりをめざして】

生まれ育った実家に帰って来て10年になります。その後まもなく父を亡くし、今は92歳の母と二人暮らしです。地域の皆さんに大変お世話になり、有難いと感謝しています。

私の小さい頃は、沢山の子ども達とよく遊んで母に叱られたものです。しかし、近頃では近所に子どもがいないからか、遊んでいる光景をほとんど目にしません。これは大変さびしい事です。自然が美しく、静かな「東植田」を、安心して住める町、元気のある町にしたいと思うのは私だけでしょうか。

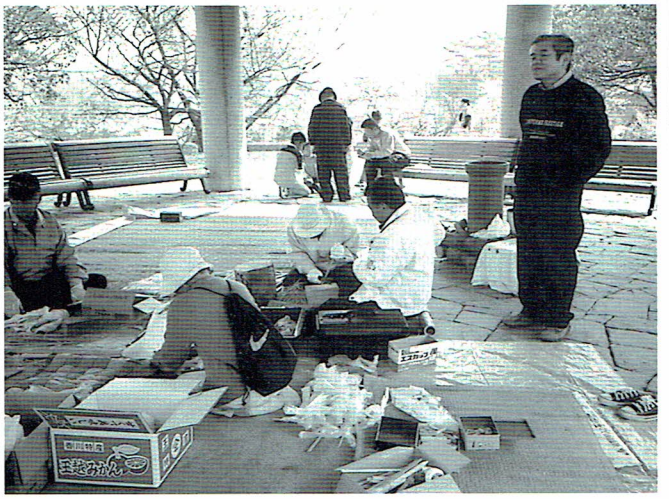
一昨年、東植田コミュニティ協議会が結成され、校区の活性化を図るには何をすべきか、どうすればよいのか等と、企画委員会などで検討してきました。「美しい住みよい町」として多くの人に知ってもらう活動として、親子ですすめる「さつまいも作り」「竹の子掘り」「竹細工実習」の体験学習など、毎年実施することにしたいのです。こうしたイベントを通して東植田町に住みたいという人が一人でも多くなることを願っています。

校区のこれから先を考えると、少子高齢化が益々進んでいく中、イベント等の開催で、多くの人に「住みよい町」だということを知ってもらうには、その受け皿である**≪住宅の促進≫**や**≪高齢者が本当に安心出来る町づくり≫**に向けて真剣な取組みが必要です。それには東植田校区の人々が協力して、一人暮らしの高齢者や障害のある人への支援のボランティア活動をはじめ、住宅をつくって子どもを増やす運動を具体的に進めていかなければならないと考えます。

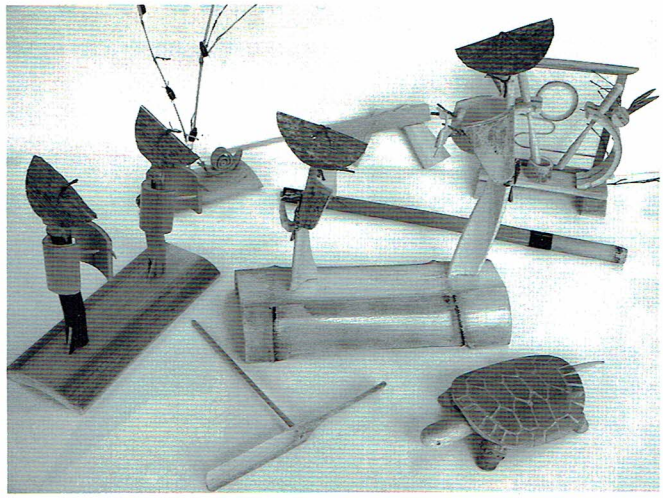
高齢者に対しても、現在の介護保険での支援だけでは十分とはいえません。**≪食事の支援≫**は昼食だけがやっとです。在宅介護を進めていっても朝食や夕食は難しく**≪地域で支えるボランティア活動≫**の必要性が高まっています。

小学校の生徒も40人ほどで子どもが極端に少なく、菅沢地区も合わせて、この状況から脱非するためにも、若い人たちに来てもらい、子どもたちが増える環境作りをしましょう。これらの対策を推し進めるには校区の方の**「人的・資金的支援」**も必要です。私たちが住んでいる町を、中長期の展望にたって『住みよい町づくり』を構築したいものです。

公城の里会長
東植田校区連合自治会副会長
コミュニティ協議会推進委員
青井　隆



平成19年4月8日(日)／さくらまつりで竹細工教室



竹細工制作(例)　谷川 光男氏　　村尾 誠一氏

実行しよう!～子や孫のために～

一年程前から始まった東植田の未来像をつくる「コミュニティ計画」【地域の住民がつながりを強め将来計画をつくること】の姿がほぼ見えてきたようです。

“自然を生かしたまちづくり”をスローガンに①安全安心のまちづくり②元気なまちづくり③年寄りを支えるまちづくり④子どもを育てるまちづくり　などを柱にして、多くの計画が進められています。

このようにテーブルの上に並べられたメニューを食べる(実現する)には、息の長い取組みが必要だと思いますが、田舎町を取り巻く環境は、日々刻々と動いており、これと思う事業には地区民皆さんの知恵で「必要な資金は自力で調達する覚悟」で、一つ一つ手をつけて行かねばと思います。

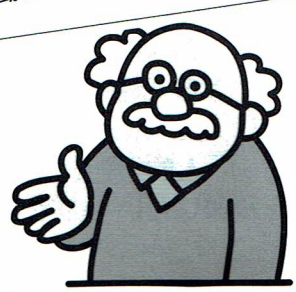
計画の中味をよく知ってもらい、思いや理解を求めることこそが、計画が空に浮くことにならないようにする決め手です。

このコミュニティ計画の実現は、地区民全体のためでありますが、むしろ子や孫たちへのささやかな“土産(みやげ)”だと思えばまた、やり甲斐があります。

東植田中老会 会長　溝渕　伯喜

平成19年5月20日(日)／東植田校区運動会　グランドゴルフ

平成19年5月20日(日)／東植田校区運動会　玉入れ競技



地域交流で広がる保育「豊かな感性をはぐくむ」

ふれあい農園で

とうもろこし、さつまいも、落花生・・・等々の植え付け、収穫時は地域の方々や小学校1.2年生と一緒に心待ちにしている行事。泥まみれになって土を掘ったり、虫を探して無心に畑ではしゃぐ子どもたちの顔はきらきらと輝き、ワクワクの体験です。

収穫した野菜は画用紙いっぱいの絵になり、とりわけとうもろこしについた虫は興味津々でした。虫を飼育し成虫を図鑑で見たり、文化祭の作品づくりへと発展していきました。

落花生は、干した殻を子どもたちが一つ一つ割って豆を取り出す作業をしました。ほうろくで炒ると香ばしい香りが部屋いっぱいに充満し、炒りたてのピーナッツを食べる子どもたちの顔はほころび「あまいねー。」と格別の味わいのようでした。

中老会との交流で

見せてもらった手品に身をのり出すほど見入ってしまった子どもたち。マジックの不思議さ、おもしろさに刺激を受けて生活発表会で技を磨き、お家の人やお客様に見てもらいました。

1月も打ち込み汁大会、たこあげ大会、お茶会などを経験し、お家の方々、地域の方々と一緒にふれあえることを楽しみにしている子どもたちです。

西植田保育所と

今年は、西植田保育所との交流にも取り組んでいこうと、さっそく6月に入り、4·5歳児が歩いて訪問しました。「もうすぐ、もうすぐ」と期待を胸にはずませて歩き、早くに到着できました。

西植田保育所のお友だちに出迎えてもらい、疲れもふっとび、一緒に〈ボラエもん〉の手品を見たり、名前を聞きあったりして、すぐに打ち解けました。

帰りには、「また、あそぼうね」と、声をかけあう姿も見られました。

地域から外に出ると、また同年齢のたくさんの友だちとの出会いがあり、新鮮な体験を大いにプラスにしていきたいと思っています。

このように一年中を通してふれあい農園での体験、又様々な地域の方々とのふれあいで、保育所の保育が一層生き生きと活動でき、豊かな日々を過ごせていることを実感しています。

本当に温かい地域の方々に支えられていることを感謝し、これからもパワーをいただき、子どもたちのパワーも受けてもらいみんなでつながって、豊かな感性を育んでいきたいと思っています。

高松市立東植田保育所 所長　伊沢　秀子

ふるさと遊び大会で祖父母・中老会の方々とうどん作り体験をしました

校区防災訓練のお知らせ

校区全域ですすめている自主防災組織で「自主防災訓練」を高松市消防局東消防署山田出張所のご協力により開催します。各世帯からのご参加をお願いします。（この訓練は高松市全地区で開催しています）

日時：平成19年8月26日（日）9:00～11:00

場所：東植田小学校運動場

＊詳細については、後日自治会長を通じてお知らせいたします。

＊雨天中止、小雨は決行いたします

災害・地震は対策を忘れた頃にやってくる!
消防団入団33年で感じ、覚えた簡単なようで難しい災害対応

災害は何時起きるか分からない思いがけない災いで、消防団では火災・暴風雨・地震・戦争等の災害による防災について、市民の生命と財産を守る活動が団員の自主的役割・使命になっている。

当分団は東植田屯所、城屯所、菅沢屯所で、団員は本部18名、城7名、菅沢5名、合計30名である。ポンプ車1台、過搬搭載車2台で、主に消火、防火、暴風雨警戒、訓練等を消防局の指令により団員が自主的に行っている。

災害については、常に防火意識・火の用心（予防）に心がければ防ぐ事が出来るが、「この位はいいだろう…」の過失による出火が多い。

①火災は初期消火、炎が背丈位までに消さないと、消えない。常に火の用心!!

②暴風雨（台風）については、近年、異常気象での危険度合い想定と、歴史は繰返されるので、浸水、洪水、土石流があった所は常に対策を講じておく。

③平成16年の台風15号16号21号23号での時間雨量30　バケツをひっくり返した様な雨の時の情報収集と避難所、避難路、避難方法等を常に考え、早い判断での対応が必要。

④地震については、特に急な自然現象で避けられないが、平成17年1月17日阪神淡路大震災後の教訓による集落単位自主防衛組織の立ち上げによる東・南海地震への備え。

⑤被害を最小限に止める備え。自分の地域は自分達で守る対策を。

⑥今まで地震での揺れが40秒以上はなかったそうだ。40秒間じっと待って、『自助（自分の力）で70%、共助（地域の人力）で20%、公助（公的組織力）で10%の救助力』（県防災標語）。
現実は厳しいが人命救助は時間的戦いであるから自助、共助である。

東植田校区コミュニティ協議会環境安全部会
高松市消防団東植田分団長　久保　利明

今年度、高松市から3地区のコミュニティ協議会（東植田・松島・屋島）に配備される防災機器
（全国130ヶ所）

《東植田校区での検討機器》

- ○AED（除細動器）……1台
- ○集会テント……1個
- ○発電機……1台（菅沢用）
- ○ハロゲン投光器……4セット（菅沢用含む）
- ○救急箱セット……1セット
- ○工具セット……1セット
- ○ハンド型メガホン……1セット

※防災センター（東植田・菅沢）に設置

平成19年2月18日(日) ≪不法投棄ゴミ撲滅ふれあいクリーン作戦≫

しない　させない　許さない

地区あげての取組み・不法投棄をさせない環境づくり・監視の目をつくる

危ぶまれた天候の中、地区住民・関係者400名のご協力により全地域で約19トンの不法投棄ゴミを回収することが出来ました。

婦人会活動について

「介護予防」この言葉が叫ばれて久しい今日です。我が東植田総合婦人会では高齢化の進んだこの町で一日でも元気で長生きできるように啓発活動を行っています。

「直角に生きる」この言葉を耳にしたことがありますか？

先日、ある講演で清水国明さん（自然暮らしの会代表）が語った言葉です。『華やかさを求めず生涯自分のやりたいことを追及して生きること・・・そして死の前日まで元気で働くこと』だそうです。生命維持装置により生かされている、そんな老後はとても寂しい事だと思います。「スローライフ。後半人生を豊かに過ごすため」この演題は私たちの生きていく道だと思います。

ところで皆様、東植田元気会をご存知でしょうか？この地域で元気を広めようと頑張っているグループの事です。「杣尾元気会」「高様笑話(しょうわ)会」「上岩破公渕さくら会」各集会場で月に一度集まり、お互いの元気を確かめ合っています。手持ちの野菜を持ち寄り自慢料理を作ったり、カラオケ・折り紙・廃品利用の工作、又、簡単な手足の運動・単純計算・漢字遊び等を一緒に楽しんでいます。地区の文化祭・敬老会・食事サービス等のお手伝いもしています。「緑豊かな東植田・元気の源東植田」この町で明るく楽しく生きていきましょう。

これが婦人会の願いであり、また活動の一部です。

東植田総合婦人会 会長　甲斐　シズ

「日本一の桃太郎」と「百襲姫（卑弥呼）」像

高松市一宮町、田村神社北参道広場に昨年、桃太郎と百襲姫の銅像が建立されました。桃太郎は右手に扇子を持ち、鬼門の北東方位を指し、右側に猿犬、右肩には雉が止まっています。今にも鬼退治に出発しようという態勢です。百襲姫は姉らしい上品な姿で弟の桃太郎より一段と背が高く、隣の石碑には桃太郎が女木島（鬼ヶ島）の鬼を退治したと記しています。岡山市駅前と駅二階には立派な桃太郎の像がありますが、姉百襲姫像はありません。また鬼無駅の西南にも桃太郎神社があり、正面南側の大石碑には桃太郎像と猿犬雉の姿がうかしぼりに刻調されてます。こちらも女木島の鬼を退治したと記し、犬や猿雉の墓まで祀っています。田村神社の百襲姫命は、祭神五人の第一位で、第二位が桃太郎（吉備津彦命別称五十狭芹彦命）です。この百襲姫は第七代孝霊天皇の長女で、五十狭芹彦命は長男、鬼無の若武彦命（別名桃太郎）は末子の男子です。モモソ姫は大和の戦乱をさけ、七才のとき都を出発し、八才にして讃岐大内馬篠に到着、引田安戸に至り、更に誉水水主に安住後、仏生山神宮寺、一宮に居住していました。その後、岡山の一宮に住んでいた弟の吉備津彦命の要請で岡山に移住同居しました。そこでモモソ姫は特殊な霊能力を発揮、神人和合の状況にて神意を衆人に伝へ、よく吉凶をうらなう英智の女性で、その風評は広く知られる処となりました。中国の魏志倭人伝には卑弥呼（モモソ姫)は「鬼道を能くし衆を惑わす」と記しています。瀬戸内海圏の中心部「岡山･讃岐」で「日本一の桃太郎」と賞賛された吉備津彦命が、姉モモソ姫を迎えて神祭を行い、模範的国造りをしたのです。当時豪族や民衆は平和な統一国家を希望し、西暦一八八年女王に卑弥呼（モモソ姫）が共立されて、内乱がおさまっています。魏志倭人伝には「邪馬台国が三十余国を支配下におく」とあります。その後モモソ姫（卑弥呼）は、自分が生まれた大和の纒向の扇状平地を都と定め、広大な地に多数の楼閣楼門を造り、常に千余人を侍らし厳重な柵を作って警備を固めていました。西暦二三九年、卑弥呼が魏に使いをたてており、魏の明帝は卑弥呼に「親魏倭王の号」を贈り金印紫綬と銅鏡百枚を与えています。二四八年卑弥呼が死し、邪馬台国に男王がたったが治まらず、卑弥呼の一族の娘「壱与」が女王として国を治めました。

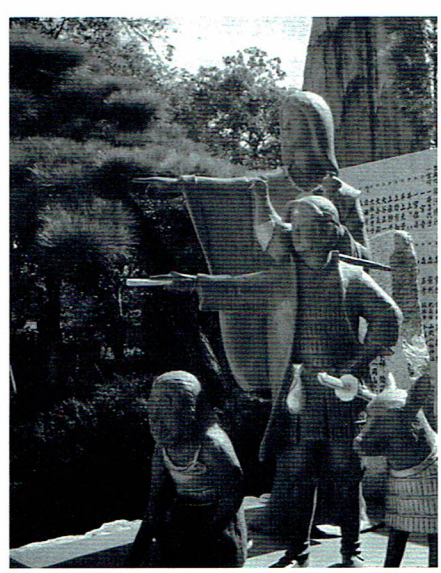
倭迹々日百襲姫命名は生前の名ではなく、死後その偉大な功績を賞した贈名です。

＜ヒミコは倭国を統一し、初の女王として天下を治め、中国魏王と交流して政治文化の発展に努力。農業を中心とした産業奨励に力を入れ、「水徳の神」と称賛されたました。＞

東植田八幡神社 宮司（旧 山田町教育長）　青井　瑞穂

この倭迹々日百襲姫(卑弥呼) 銅像の建立は全国初です。
【卑弥呼】には九州説と大和説があり、今回、青井先生は『卑弥呼の大和説』をとって歴史物語として描かれたものです。
今後も種々「寄稿」頂けるものと楽しみにしています。
※金印は、博多沖の志賀島で出土。銅鏡は景行三年銘（魏の景行三年）で全国各地で発掘されています。

美輪山と箸墓古墳



「日本一の桃太郎」と「百襲姫（卑弥呼）」像

健康を守る会てどんな会？入ってみよう!!

☆ 医師会のいろんな先生方のお話が聞ける
☆ 健康で元気で長生きできる調理実習がある
☆ いろんな理学療法士の健康体操で元気になる
☆ 年一回の視察研修旅行がある
☆ ハイキングもあり楽しいお話も聞いて楽しめる
☆ 保健師がいつでも健康相談にのってくれる

入って見てよかったと言えるよ！

ちょっと、作ってんまい!!

あゆの 魚飯（ぎょはん）

＜作り方＞

1）米は 30分前に洗ってザルにとり上げます。
2）あゆは 塩水で洗っておきます。
※あゆの代用 —— キス、タイ、アイナメ、ベラ、サザエ
3）釜に 米 ＋ 同量の水・こんぶ を入れ
味をつけてから、あゆを並べて、ふつうに炊きます。
4）※ポイント
あゆをとり出し、頭をとり除いて尾をもって、
ハシで身を頭の方に向けて、こそげ落とします。
5）あゆの身と、青しそ（手でちぎる）を
ご飯にまぜて器に盛ります。

久保 弘子

3人分

あゆ	2尾	こんぶ	5cm
米	2合	酒	大さじ2
水	2合	薄口醤油	大さじ2
		青しそ	3枚

※ タデの葉があれば使う。1人分 230kcal

≪公渕森林公園桜まつり≫

平成19年4月8日(日)

例年より1週遅れの開催となり、コミュニティ関係者のお手伝いを頂き、28,000人の入場者と7,500台の来場車を記録し盛況な人出となった。

≪東植田校区コミュニティ協議会　総会≫　平成19年6月22日(金)

東植田コミュニティセンターにて、平成19年度東植田校区コミュニティ協議会総会が開かれ、19年度のスタートをきりました。

編集だより

お願い

コミュニティ広報部では、原稿を募集しています。

どなたでも投稿はご自由です。皆様の原稿をお待ちしています。

広報部一同

東植田コミュニティセンター　TEL・FAX 087(849)0104